

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

ふりがな	ふじさき しんいち			
氏名	藤崎 慎一			
所属	株式会社地域活性プランニング			
役職	代表取締役			
活動エリア	全国			
連絡先	住所	〒	105-0003	東京都港区西新橋一丁目11番3号 7F
	電話番号	03-5157-0567		
	メールアドレス	info■chiikikassei.co.jp (■を@に変えて下さい)		
キャッチコピー	何もない町が変わる！＜聖地巡礼・ロケツーリズム＞による地域活性			
自己PR	私の役目は、地域の“良いところ”やそこで活動している人の“強み”を引き出すための『コーチング』。地域のみなさんが、誰かに頼るのではなく「何のため」、「誰のため」、「どうなりたいのか」を自ら考え、一人ひとりが汗をかいて頑張れるような自立型の地域活性を目指しています。 また、地域を応援する雑誌『ロケーションジャパン』の発行人も務めています。国内唯一のロケ地情報誌であり、地域独自の資源を再発見できると、マスコミから一般読者の方まで幅広い購読層です。まちづくりの主役となる地域の人々が、「どのように活動して」、「どう変わったか」というBefore・Afterが見えてきますので、ぜひご一読ください。 今こそ、地域から、日本を元気に！ 未来のふるさとの為に、一過性で終わらない、持続可能な地域活性のお手伝いをしています。			
関連ホームページ	名称		アドレス	
	株式会社地域活性プランニング コーポレートサイト		https://www.chiikikassei.co.jp/	
	ロケ地情報誌「ロケーションジャパン」		https://locationjapan.net/	
	ロケポータルサイト「ロケナビ！」		https://locanavi.com/	
一般社団法人 ロケツーリズム協議会		https://locatourism.com/		

2. 略歴・受賞歴

略歴・受賞歴	<p>Amazon旅雑誌1位、メディア・TV・映画制作者1万人が購読！聖地巡礼・ロケツーリズムの先進事例が満載！ →国内唯一のロケ地情報誌「ロケーションジャパン」発行人 『ガイアの夜明け』で紹介！ドラマ制作利用者90%のロケポータルサイト →映像業界No.1ロケポータルサイト「ロケナビ！」プロデューサー 『WBS』でも紹介！のべ631団体(自治体・企業)が参加！“地域の魅力を効果的に発信する手法＝ロケツーリズム” →一般社団法人「ロケツーリズム協議会」会長</p> <p>【プロフィール】 1986年(株)リクルート入社。全社マネージャーMVPを2年連続受賞。99年、地域活性事業部GMとして、観光振興をはじめ、雇用・定住等、地域活性に関する企画・プロデュースを行う。2003年(株)地域活性プランニングを設立。住民自立型の地域活性を実現するための仕組みづくりと人材育成を実施。地域の魅力ある資源を効果的にプロモーションする手法として、全国各地で“ロケツーリズム”を展開し、まちづくりに取り組む。</p> <p>【主な委員会等】 2019年「一般社団法人ロケツーリズム協議会」会長(観光庁後援) 2014年「ふるさとづくり有識者会議」委員(内閣官房) 2013年「世界にも通用する究極のお土産フォーラム」プロデューサー(観光庁・復興庁) 2012年「ロケツーリズム研究会」座長(東京都) 2011年「地域再生マネージャー」(地域総合整備財団／ふるさと財団) 2010年「地域活性キーパーソン」座長(内閣官房・経済産業省) 2009年「地域活性化伝道師」(内閣官房 都市再生本部) 2009年「地域力創造アドバイザー」(総務省) 2007年「地域中小企業サポーター」(経済産業省) その他 「ロケ地データベース委員会」委員長(愛知県) 「愛知観光策定委員会」委員(愛知県)</p>
--------	--

3. 取組分野

● 観光	(インバウンド・国内観光客にも効果的な情報発信(＝ロケツーリズム)による観光振興)
● 移住・定住・関係人口	(聖地巡礼コンテンツによる関係人口交流の機会創出)
● 農林水産業	()
● 起業支援	()
● まちなか再生	(ロケ地が観光資源に！ロケツーリズムによる地域振興)
● 集落再生	()
● 環境	()
● その他	()

<h4>4. ふるさと財団での実績</h4>	
<p>外部専門家 (活用助成)</p>	<p>◆2011年度 茨城県筑西市 「ロケ誘致による筑西市のイメージアップ戦略」</p>
<h4>5. 取組内容・実績</h4>	
<p>取組内容・実績</p>	<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名 :ロケツーリズム推進事業 (2)対象地 :長崎県島原市 (3)事業目的: 島原市を知ってもらう為のきっかけとしてロケを活用し、メディアを通してシティプロモーションを展開することで活性化を目指す。 (4)事業内容: ・ロケハンツアー企画及びディレクション ・情報発信・広報企画業務 ・ロケ地検索サイト「ロケなび！」掲載 ・ロケツーリズムセミナーの開催、官民体制へのアドバイス (5)事業による成果:～無人駅が、たった3年で聖地に！ロケ誘致を市長直轄事業として仕組化し、観光客が増加～ ・東京から飛行機・車で約3時間、ロケに不向きな自治体が市長直轄<ロケツーリズム班>を設立。 ・組織的に対応で制作者のファンが急増、キリンレモンやマクドナルド等のCM撮影が連続して行われた無人駅の大三東駅が、ロケの聖地に。 →実績の版權を活用し移住政策やシティプロモーションを効果的にPRし、観光誘客やふるさと納税寄付額アップに寄与している。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名 :旭市シティプロモーション事業 (2)対象地 :千葉県旭市 (3)事業目的: 旭市が有する豊富な地域資源を活用し、映画やテレビ番組などの撮影誘致・支援を行うことで、作品を通じた情報発信による旭市の魅力や認知度の向上と、市民の地域に対する郷土愛の創出を図る。併せて作品の舞台を訪れてもらうロケツーリズムの推進により、効果的なシティプロモーションを展開し関係人口の拡大を図る。 (4)事業内容: ・ロケ地情報誌『ロケーションジャパン』への掲載と本誌を活用した映像制作者への情報発信、「ロケ地MAP」の作成 ・ロケ地検索サイト「ロケなび！」におけるロケ地情報や受入条件等の情報発信 ・専門家によるロケ誘致セミナーの開催 ・映像制作者を招聘するロケハンツアーの企画及び運営 ・国内初の「ロケ弁グランプリin旭市」イベントの企画・開催、映像制作者向け事業者情報発信ツール「ロケ弁ブック」の作成 (5)事業による成果:～ふるさと納税寄付額が二倍に！テレビ露出増加で「餃子の王将のまち」から脱却～ ・2022年度より市とシティプロモーションに関する3年間の包括連携を締結。ロケ誘致を推進する協議会を設立し官民一体の体制を組織。 ・『孤独のグルメ』をはじめとする人気ドラマ、情報番組への露出が増加し地元特産品の効果的なプロモーションに成功。 →情報番組で集中的に取り上げられたハマグリを起爆剤にふるさと納税寄付額が増加し、昨年度末の2倍に。</p>
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1)事業名 :西伊豆町ロケツーリズム推進事業 (2)対象地 :静岡県西伊豆町 (3)事業目的: メディアを通してシティプロモーションを展開することで全国的に認知度の向上を図り、関係人口の交流拡大や住民(特に子供達)のシビックプライドの醸成を目指す。 (4)事業内容: ・ロケ誘致の為に情報発信広報企画 ・ロケツーリズム広報・PR活動業務 ・映像制作者招聘による域内視察 ・制作者向けロケ地紹介ツール(ロケーションガイド)作成業務 ・専門家セミナー開催(官民体制へのアドバイス等) (5)事業による成果:～夕陽のまちとして認知度アップ！ふるさと納税寄付額アップ！子供達のシビックプライドの醸成を目指す～ ・2020年に官民一体組織「ロケさほ西伊豆」を発足。 映画、ドラマ、情報番組、アニメ等を誘致し、直接的経済効果は900万円以上、組織立ち上げ前と比較し、ロケ受け入れ件数2.5倍に。 ・メディア露出が増えることで、2022年度の静岡県内ふるさと納税寄付額ランキングでは第5位に(12億9千万円)。 ・ロケ対応を主体として行う地域おこし協力隊が移住、NHK『いいいじゅー』やテレビ東京『都会を出て暮らそうよ』でも取り上げられ全国の事例に。</p>
	<p>【取組事例④】</p> <p>(1)事業名 :一般社団法人「ロケツーリズム協議会」セミナー (2)対象地 :全国 (3)事業目的: 「ロケ地」を観光資源として活用し、観光・移住・ふるさと納税寄付額アップ等、シティプロモーションを目的として「ロケツーリズム」に取り組む。 映像制作者と相互理解を深めながら、ストーリーのある観光地の造成として、国内における「ロケ地行楽度の向上」・「ロケ支援度の向上」を図り、地方誘客を目的とした旅行客向上(2030年までに訪日外国人旅行者数6000万人、旅行消費額15兆円)を目指す。 (4)事業内容: ・2016～2018年度と観光庁「テーマ別観光による地方誘客事業」に選定。その後、一般社団法人化し、全国の会員(自治体・民間企業)による自立的な運営となり、活動を継続中。 ・のべ63団体(地方自治体・企業)が参加し、年5回のセミナー・GWの実施。旅・情報番組/映画/ドラマの映像制作者とのマッチングを行う。 ・ロケツーリズムアワードの表彰(観光庁が表彰)、参加団体・個人へ「ロケツーリズム認定証」を発行。 (5)事業による成果: ・HP (https://locatourism.com/)にて随時、成果を共有。 ・公式テキスト「ロケーションジャパン」にて毎月、会員の成果を「知って得するロケツーリズムのPR」コーナーにて発表。</p>
<p>※上記以外の取組内容・実績</p> <p>●「ロケーションジャパン大賞」の主催・表彰 この一年間で地域を盛り上げた「作品」と、ロケ受け入れやその後の地域活性化に尽力した「地域」を称える機会として毎年2月に表彰式を開催、2024年度で第15回目となった。 ・20,000名の一般読者アンケートと4つの指標(支持率/行楽度/地域の変化/撮影サポート度)による有識者の審査によって、グランプリ、準グランプリ、4つの部門賞、そして審査員特別賞を表彰。2月末時点で、約149媒体のメディアにて紹介。</p>	